

円安が進行

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

小幅ながら3営業日ぶりの反発

週明けとなった昨日の日経平均は、前週末比+45円(+0.1%)の2万7944円と小幅ながらも3営業日ぶりに反発した。業種別では海運(前週末比+1.2%)、卸売(同+1.1%)、鉄鋼(同+1.0%)が上昇率の上位、鉱業(▼1.2%)、その他製品(同▼0.4%)、パルプ(同▼0.2%)が下位であった。東証プライムの売買代金が約1ヵ月ぶりの低水準となったなか、個別銘柄では、ゴールドウインが前週末比+2.1%の上昇となって株価(修正後)は上場来高値を更新、ミスミグループ(前週末比+5.2%)、ツバキナカシマ(同+4.6%)といった機械株の一角が買われた。一方で、前週末に2023.3期通期の経常利益の予想の下方修正を発表したSOMPOホールディングス(前週末比▼8.0%)が大きく下げ、東海カーボン(同▼5.1%)、昭和電工(同▼3.0%)などが安い。

テクノロジー株が売られる

現地21日の米国市場では、NYダウは前週末比▼45ドル(▼0.1%)の3万3700ドルと反落、ナスダックも同▼121ポイント(▼1.0%)の1万1024ポイントと下落で終えた。個別銘柄では、アイガー氏のCEO復帰が好感されたディズニー(前週末比+6.2%)が大幅高、USスチール(同+3.7%)やヘルスケアのアッヴィ(同+1.3%)、メルク(同+1.3%)が上昇した。ハイテク関連銘柄が売られ、テスラが前日比▼6.8%の大幅安、アップルも同▼2.1%と売られた。半導体関連は、インテル(前週末比▼3.1%)、AMD(同▼1.5%)、クアルコム(同▼2.9%)など下げが目立ち、SOX指数は前週末比▼1.7%の下落であった。WTI原油先物は中国における新型コロナ拡散が嫌気されて一事は10ヵ月半ぶりの安値となる75ドル台にまで値下がりをして、終値は前週末比▼0.4%の79.73ドル、米10年債利回りは前日比▼0.01%の3.82%で終えた。

今日の予定

現地21日のシカゴ日経平均先物は、大証比+75円の2万8045円で終了、今朝のドル円は1ドル142.10円程度(7時現在)で推移している。今日は、国内、海外ともに主な予定はない。

東京市場マーケットデータ

2022/11/21 現在

日経平均	2万7944円
プライム売買代金	2兆4510億円
プライム時価総額	708兆1617億円
日経平均予想PER	12.7倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.2%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

国内株式売買代金ランキング

2022/11/21 現在

株価前日比

1 レーザーテック	0.8%
2 ソフトバンクグループ	0.03%
3 マイクロ波化学	9.9%
4 東京エレクトロン	0.3%
5 東京海上HD	2.3%
6 三菱商事	2.2%
7 トヨタ	0.5%
8 任天堂	▼0.5%
9 三井住友FG	▼0.2%
10 ソニーグループ	0.3%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa